



パワハラ防止法に対応する！ハラスメント起こさない 職場作り

1. 開催日 **令和7年12月15日（月）**
10:00～16:00
2. 開催場所 **U-AXISビル2階** 中央区入船2-2-14
<https://maps.app.goo.gl/CczUAA5Tbs7VosJG9>
3. 参加費 **会 員 13,800円**
一 般 23,100円
4. 申込締切 **11月20日(木)**

最少催行人数（5名）に満たない場合は中止となります

詳細は、次頁の「ハラスメント防止研修のご案内」をご覧ください。

令和 7 年 1 0 月 吉 日

会 員 各 位

(一社)情報通信設備協会
関 東 地 方 本 部
教育委員長 永島 薫

ハラスメント防止研修のご案内 ～ パワハラ防止法に対応する！ハラスメント起こさない職場作り ～

平素は関東地方本部の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
令和 6 年度のハラスメント防止研修を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

1. 研修目的 ①ハラスメントの種類と内容を正しく理解いただきます。特に、パワハラについて、何をするとハラスメントとなるかを正しく理解し、ハラスメントを起こさない職場作りにつなげます。
 ②令和 2 年度より「パワハラ防止法」（略称）が施行されています。これにより、各企業においては、パワハラ防止に向けた対策を実施する必要があります。パワハラに対して何を対策しなければならないかを理解促進します。
 ③ハラスメントは、基本的なコミュニケーションから発生します。職場において風通しの良いコミュニケーションを実現するためのコミュニケーション法を習得します。
2. 開催日時 令和 7 年 1 2 月 1 5 日(月) 1 0 : 0 0 ～ 1 6 : 0 0
3. 場 所 U-A X I S ビル 2 階 (東京都中央区入船 2 - 2 - 1 4)
4. 受講対象者 ハラスメント知識を高めたい経営者、管理職、職場リーダー、プロジェクトマネージャー・リーダークラス、人事総務関係者の皆様 等
5. 講 師 ホープフルラーニング 代表 小田部 隆 氏
6. カリキュラム 別紙 カリキュラムをご参照ください。
7. 受講料 会 員 1 3 , 8 0 0 円 (教材費・消費税込み)
 一 般 2 3 , 1 0 0 円 (教材費・消費税込み)
8. 定 員 1 5 名 ※最少催行人数 (5 名) に満たない場合は中止となります。
9. 申込方法 ① **W e b 申込**となります。 <https://kanto.itca.or.jp/seminar/>
 必要事項を記入のうえ、11 月 20 日(木)までにお申込み下さい。
 ②受講料は、開催決定連絡後に協会より請求書を発行いたしますので、
 指定日までに、お支払いください。
 ③開催決定通知送付以降のキャンセル・返金対応は致しかねます。
 お振込み前でも 100% のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。
- 1 0. お問合せ先 (一社)情報通信設備協会 関東地方本部 事務局
 電話 0 3 - 5 2 4 4 - 9 7 0 0 F A X 0 3 - 5 2 4 4 - 9 7 1 1
 kantokensyu@itca.or.jp 松島 ・ 谷中

「カリキュラム」

時 刻	内 容
1 0 : 0 0	0. アイスブレイク
1 0 : 2 0	1. ハラスメントとは ・ハラスメントとは何か？ ・世の中の労働相談内容（何が起きているのか） ・ハラスメントの種類 ・ハラスメントが発生と何が起ころのか（最悪、企業・個人が訴えられます）
1 1 : 0 0	2. パワーハラスメント（パワハラ）を考える ・令和2年から施行され、企業に求められる「パワハラ防止法」（略称） ・パワハラの定義を理解する ・何をするとパワハラになる？パワハラ6分類 ・世の中事例から学ぶ 「パワハラが発生すると訴訟を起こされ、企業経営に影響を及ぼす」 ・ケーススタディ：この言動はパワハラになる？
※途中 60 分 昼食休憩	
1 3 : 3 0	3. 他のハラスメントを考える ・セクハラの定義を理解する ・これはセクハラになるのか？ ・世の中事例から学ぶ「セクハラ」 ・ダイバーシティ&インクルージョン時代のハラスメントを考える（L G B T Q など）
1 4 : 0 0	4. ハラスメント未然防止・発生時の対処法 ・ハラスメントを未然に防止するために ・ハラスメントの相談を受けた時の対処法
1 4 : 3 0	5. ハラスメントを起こさない職場のコミュニケーション法 ・ハラスメントは言葉から発生することが多い ・ハラスメントと捉えかねないコミュニケーション ・職場のコミュニケーションを活性化するには？ ・双方向コミュニケーションを体感する（訊く、聞く、聴く） ・I & Y o u メッセージ ・質問技法と詰問を理解する
1 5 : 5 0	6. まとめ
1 6 : 0 0	※終了